

平成21年4月 介護報酬改訂（医療連携加算）に対する取り組み資料

平成21年1月15日 稲垣会長より

MSWのみえる大きな病院とは比較的連携しやすいと感じています。医療や診療所などでも市内の特に当センターから近いところであれば、Drと色々な相談を出来るような形になってきているので、以前に比べて連携はとりやすくなったのか...と思っています。

先生がこちらの時間に応じてサービス担当者会議に出席できる訳がない、出欠の依頼も申し訳がないという気持ちで照会としていることが多くあります。実際に時間に追われている先生方をお願いすることは難しいのでしょうか？退院時の会議については何とかできるではないでしょうか？退院時の調整をする際、病棟へ直接連絡するのではなく、必ず相談室を通せるようなシステムにしてくださいと分かりやすいのではと思います。こちらから連絡を仕方なし、嫌々対応ということがあり、退院時加算が出来るのか不安です。入院時に担当ケアマネを聞かれ伝えてあるが、退院時ケアマネに何の連絡もない、入院直後にケアマネが訪問し伝えてあるのに連絡がない。

大きな病院とは限らないのですが、面談の機会がとりづらいと感じます。お忙しいとは存じますが、感心や理解をしていただけないことがあり、主治医の先生からのご指導やご意見がいただけないのが現状です。

少し前の話ですが、病院（診療所？）にアポを入れて主治医の意見を頂きに参りました。結局、最後までお声がかからず、2時間待った後で、夜の会議に来るようにと促されました。お忙しいところかと思いますが、どんな時間で参らせていただければよかったのか、教えていただければありがたかったように感じました。決して急患の方が出入りしているように感じた診療ではなかったようでした。

主治医にお伺いする方法もそれぞれ違っているところにも問題があるのでは？連絡方法の意向調査（主治医側の良い時間帯、希望する意見の聞き方、ファックス、電話、メール、文書の決まった書式）などをする事で、みんなが同じ方向に向かって物事が進むようなやり方を決められたら混乱しないで済むのではないのでしょうか？

大きな病院の場合、勤務されている先生に中々会えず、サービスが導入しづらいケースがちらほらあります。その場合、入浴が出来ないなど利用者さんにご迷惑をかけるケースがあります。MSWの方に入っただき、利用者さんのニーズにスピーディーに応えられたら嬉しいです。

今後、退院時連携についての加算も導入されることになり、医師・病院との連携についてますます重要になってきます。主治医や病院・診療所との連携に関して、問題に感じていることやご意見等がありましたら、ご記入ください。とりまとめ後、市高齢福祉課にお伝えします。

居宅⇒keamane@satsuki-5.co.jp 又は FAX 058-384-0037(株)五月商店まで

1/20 火曜日までにお願ひします。

